

事業所
リレー
つうしん



this month
11月

沼津事業所

ご利用者から着物の生地や手作りの小物をたくさん寄付していただきました。

縫い物の得意なヘルパーさんたちが、着物の生地で「斜めがけバッグ」や「巾着」などを作りました。「次は何を作ろうかしら？」と創作イメージが膨らんでいます。

寄付してくださったご利用者に、リメイクの「巾着」をお渡ししたら、とても喜んでくださいました。

また、94歳のご利用者がリハビリを兼ねてカラフルな「ペン立て」を作って寄付してくれました。牛乳パックに布を貼り、底も頑丈に補強されとても素敵なペン立てです。

事業所では、寄付してくださった物を大切に使用させていただきます。



定例理事会 10月22日(木)協議議決事項

- ①上半期の振り返りと下期に向けて
- ②自家用車、バイク、自転車を業務に使用する場合の交通費に関する規程について
- ③訪問介護員交代および変更に関する基準の改定について
- ④異動に関する承認事項

9月度活動結果報告

ヘルパー会員数 430名	実働数 375名
--------------	----------

事業	活動時間数
くらしの助け合い	2725.25 時間
介護保険 訪問系サービス	5797.00 時間
障害福祉サービス	1753.75 時間

居宅介護支援	要介護	総合支援
	577名	256名

施設名	開所日数	当月利用者数	利用者数/1日
どうぞの家	26日	18名	5.85名
夢コープふじ	26日	16名	8.19名
夢コープいた	16日	34名	8.06名

交通安全スローガン

気をつけて ヒヤリ・ドッキリ 事故のもと

ちよつと笑ってみましょう
笑えるシルバー川柳

テレワーク
やってみたいが
俺無職

ばあさんの
手づくりマスク
息できず

耳鳴りも
ピーシールと
音がする

なぜ吠える
マスク姿の
飼主主に

じいちゃんの
敵は段差と
パスワード

妻が言う
ひとまず預かる
給付金

出典：公益社団法人 全国有料老人ホーム協会 シルバー川柳入賞作品より

2020.11.2 No.321

夢コープニュース

特定非営利活動法人ワークスコープ夢コープ
〒420-0851 静岡市葵区黒金町 12-5 丸伸ビル 6F
TEL 054-275-1100 / FAX 054-275-1133
MAIL honbu@yumecoop.jp / URL http://www.yumecoop.jp/

2020年11月

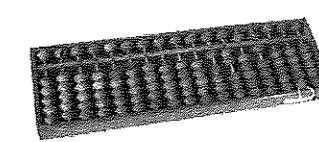
11月に入り、日の暮れるのも早くなりました。

皆さんは、秋の夜長をどのように過ごしていますか？読書、手芸など少しゆったりとした時間ももてるといいですね。

私は、夕食後に脳トレに挑戦しています。本屋で見つけた懸賞付きのドリルや、子供達が使っていたそろばんと問題集を押し入れから引っ張り出してきてパチパチとやっています。恥ずかしながら、うっかりや忘れ物防止のためです。

ご利用者宅で、木箱に玉が並んだ五つ玉そろばんを見かけ、どのように使うのですか？と聞いたことがあります。残念なこと

に教えていただいた言葉を覚えていませんが、その方はおもむろに手に取り、大きくて頼もしい指で、ゆっくりとはじいて見せてくれました。重みのある響きでした。そろばんと共に活躍されていた時代にタイムスリップしているかのように見えました。懐かしい音が気持ちを和らげてくれる場合もあります。時間に追われる日々ですが、少し立ち止まって、自分にとって懐かしい音を思い出してみてください。ご利用者さんと共通の話題が見つかるかもしれませんね。

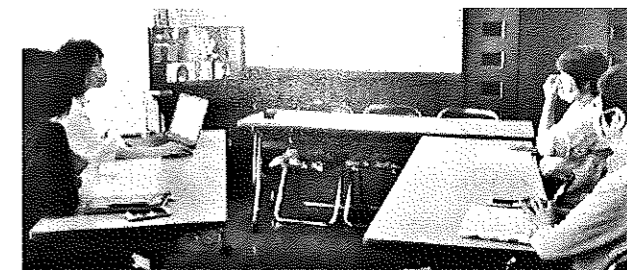


理事長 鈴木逸子

◆◆◆◆◆リモートでオンライン会議等が!!◆◆◆◆◆

コロナ禍で感染防止対策の日々を過ごしている私たちの周辺で、今まであまり耳にしなかった“リモート”という言葉が俄かに浮上してきました。夢コープではリモートワークとまでいかないのですが、全事業所でパソコンを使ってのリモート会議や研修を実施できるように環境整備をしました。勿論直接会って話し合い、学習するという体感の意義は大きいのですが、今後色々な場面での応用が期待できます。また、環境整備にかかる初期費用はコロナウィルス対策として静岡県に助成の申請をします。

行政等で主催する研修も Zoom 等を使った Web セミナーが多くなり、どこかに集合しなくても離れた場所にリアルタイムで参加できます。早速富士事業所のケアマネジャーは Zoom での研修に参加しました。





DIY アドバイザー

武嶋さんによるお掃除のポイント シリーズ⑤

～ 雑巾がけ ～

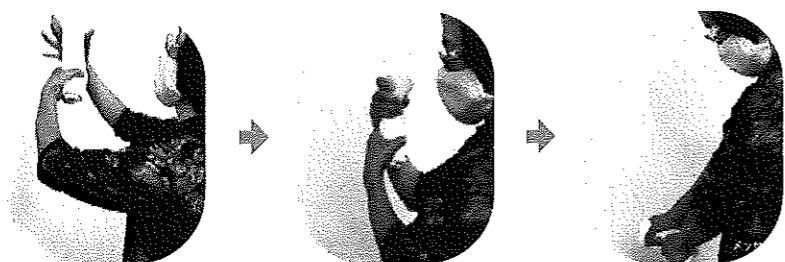
雑巾は、古タオルを利用すると、乾きも良く衛生的で使い勝手が良いです。

すすぎ

バケツに多めの水を入れ、もみ洗いが良く、最後は、すすぎ水を変えてすすぎます。

雑巾絞り

雑巾をたてに上下（剣道の竹刀のよう）に握ります。脇をしめながら手を押し出すように手首を回転させます。両手の手首やひじの内側を合わせるようなイメージで、上から下に腕を振り下ろすようにすると上手に絞れます。

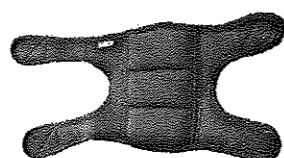


たたみ方

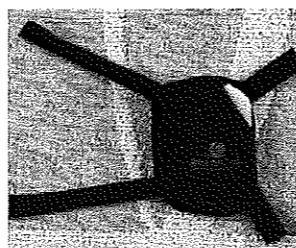
1枚を3回たたみ（両面16面、手のひらの大きさ）、拭くと力が入ってきれいに拭けます。

拭く

膝をついて拭くと体重が自然と雑巾面に伝わり無理なく拭けます。その時に、膝当てがあると、楽にできます。



膝の保護パット
(ガーデニング用)が楽です。



手作り！良いですね！！
ジャージ短パンポケットをリメイク

～自転車の賠償責任保険に加入していますか？(静岡県条例)～

昨年10月より、自転車の賠償責任保険加入と児童・中学生通学時のヘルメット着用が義務化されました。

自家用車運転中に加害者になった時と同様に、自転車であっても相手に対して補償をしなければなりません。保険をかけていない方は万が一の時は多額の損害賠償金が自己負担となります。以前保険の特約で付帯していたものが有効なのか、今一度確認しましょう。合わせて自転車の点検・整備をして、交通ルールを守って安全に利用、早めにライトをつけましょう！

NPO 法人六星ウイズ蛭塚(視覚障害者支援施設 浜松市)さんを訪ねました。

代表理事 斯波千秋様、ウイズ蛭塚施設長 古橋友則様にお話を伺いました。(10月7日)
1996年(平成8年)に全国初の視覚障害者中心の小規模授産所としてスタートしました。

白杖作り、点字印刷、小物作りなどを通して、視覚障害者が社会で安心して楽しく生活できるような技術と精神力を身につける「視覚障害リハビリテーション」を実践しています。ウイズ(WITH)は「みんなで一緒に」の意味で、「いっしょに仕事を、いっしょに何でも挑戦しよう」が合言葉です。

ウイズ蛭塚では28人の方が、さまざまな作業をされています。目で確認できないので、五感を生かして手や音声読み上げ計量器を使い耳で確認を行い、更に工夫された道具を使い正確に計測するなど、仕事を細分化して多くの方が関わることで、より正確な製品に仕上がっています。また、音声で知らせる体温計など便利グッズの展示紹介もされていました。

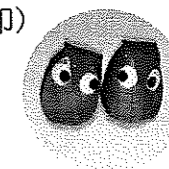
今後は、ICT機器を学び、体験する場所を作り、障害のある人たちの生活の質の向上を目指しているとの事です。

夢コープ西部事業所では、H18年に夢コープ主催のガイドヘルパー養成研修の講師としてウイズに関わっていただきました。今も同行援護については引き続き相談して助言をいただいています。

ヘルパーに求められることは何かと伺うと、「目からの情報が入らないので多くの情報提供をしてほしい、難しい情報ではなく、今流行しているもの、事、洋服等、そして本人に何でもたずねて下さい」と助言をいただきました。制作した小物の販売もしています。「ふくろうのお守り」と助産師さん一押しで履き心地の良い健康的な「布ぞうり」を買って帰りました。

K

自主製品：点字製品(名刺、折紙、封筒)、UDタグ(見て触って分かりやすい目印)
布ぞうり、マグネット など



下 請 け：新聞用ひも巻き、お茶の梱包、ボール洗い など

特定非営利活動法人六星 一視覚障害者のための支援施設 一 就労継続支援B型事業所

ウイズ半田 浜松市東区半田町 104-3

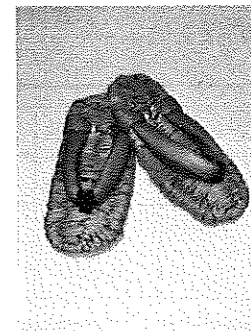
ウイズ蛭塚 浜松市中区蛭塚 1丁目 9-12



玄関前で職員さんと集合



カッターで作業する男性



布草履